わかやま未来学副専攻 成果発表会

まちなか賑わい創出への道　チームサスカッチ2022

地域協働演習ABC 「まちづくりPJ」「物産展PJ」
地域協働演習Adv. 「株式会社sasquatch」

和歌山大学　経済学部　樫本凱斗
観光学部　新田きらり
長谷川珠希
松村佳乃

- 今までのあゆみ

2年前期2Q 地域協働演習A → 2年後期 地域協働演習B/C → 3年通年 地域協働演習Adv.

地域協働演習A

まちづくりPJ「和歌山城公園の利活用を考える」

みんなが訪れたいと思うような和歌山城公園をつくる案を考えるにあたって、和歌山大学生100人に対し和歌山城公園の現状や課題についてのアンケート調査を行った。

その結果、和歌山城公園自体に何か目的をもって時間を過ごせるような施設を求めているということが分かった。
またアンケートでは有料でも使いたいと思う設備や施設案なども聞いた。

物産展PJ「物産展へ向けた企業との協働」

和歌山県で6次産業化を行う企業に若者が興味を持ってもらうための『わかやま物産展』を開催するために、企業への協力依頼、そのための企画書作成、物産展のテーマ設定、過去資料の分析を学生の手で1から行った。
企画を行ったことが無いため、他講義で学んだ知識や先輩の取り組みを参考にしながら取り組んだ。

目標
■和歌山県の企業についての知識を深める
■研修マナーを学ぶ

成果
■協力して頂く企業調査により、知識を深めることが出来た
■研修マナーについて実践的にな真ぶことが出来た

地域協働演習B/C

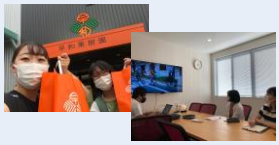
まちづくりPJ「和歌山市駅周辺の活性化」

城下町である和歌山市駅周辺の活性化を考えるにあたって、長年にわたって生業を営む事業者を地域資源として捉えた。そこで、これまでの歩みやこれからの事業のあり方について100年以上営んでおられる老舗業者を対象にインタビューを行い、それを記事としてまとめWeb上で対外的に発信した。

また、活動を通じて地方都市のまちなか再生を進める上での洞察力・企画力・協働力を養った。得られた気づきを整理し、それをもとに今後の市駅周辺の活性化案を考え、協働団体である(一社)市駅GGPとの意見交換会にてそれを提案をした。

記事掲載先➡https://shiekiggp.com/

物産展PJ「企業研修、そして物産展の開催」



企業の知識を習得するために、各企業で研修を行った。また、それらで得たことをどのように学生の目線で伝えるのか、試行錯誤しながらプロモーションについて考え、パンフレットやシールの制作、商品配置決め、手書きのPOP作成といったあらゆることを行った。

和歌山市のイベント「ぶらっちょ」と和歌山大学構内で物産展を開催し、協力頂いた企業の商品を学生の手で販売した。研修で学んだことを知識を活かして商品の説明を行い、来場客増加・成果の把握のための景品付きアンケートを実施した。
電動バイクにおいては、学内で試乗会を実施し、和歌山県の魅力を知っていただく機会になった。

目標
■企業や商品について説明できるようになる
■和歌山の企業・商品の認知度を増やす
■若者向けプロモーション提案を行う

成果
■企業。商品の説明を自分の言葉で行い、かつ、PRのためのビラ・POP作成も行った
■アンケート結果より、認知度を増やすことに成功した
■企業向けに若者向けプロモーション提案を行い、FBも頂いた。

地域協働演習Adv.

株式会社sasquatchへのインターンシップ（北ぶらリメンバーマーケット＆Kisssh-Kisssssssh映画祭2022 in 印南町）

地域の活性化という目標のもと北ぶらくり丁商店街で行われているイベントの運営に関わり、スタッフの背中を通してイベントを企画する上で必要な知識やスキルを学びんだ。また実際に出展者として１から全てを企画することを体験し、季節に応じたニーズやコストの見直しなど、想像以上に苦労があった。
ポスター作りや告知までさまざまな作業を経験し、イベントを運営するにあたって必要な時間、工程、費用などを学ことができた。

印南町で行ったKisssh-Kisssssssh映画祭のスタッフとしても携わった。町全体を巻き込んだイベントだったので、連日多くのお客さんに来てもらえた。
様々なコンテストを活用したまちなか賑わい創出の手法を学ぶことができた。